

たのしめる

親子で

大正ロマン

Numatashi shakai Fukushi Kyogikai
BREAD FESTIVAL
Tone-Numata no Pan-ya San

お問い合わせ
主催
沼田市社会福祉協議会

0278
53
2722

パン祭り



ご縁と喜びで

えん
縁じよ、い



土岐 章の紹介

の紹介



また、土岐家は東京に移り住んでからも、度々
沼田の生方家を訪れていました。

戦時中、糸之瀬村
(現在の昭和村)
に疎開した章夫人
貞子のもとに、たつゑ
が自転車で差し入れに
行っていたなど生方家と
土岐家は交流を交わしていました。

土岐章子爵は、明治25年（1892）に旧沼田藩主土岐頼知の次男として東京に生まれました。東京帝国大学で発酵学を学び、卒業後にパンの製造販売を試みた際に、木村屋などの日本のパン業界との繋がりを得ました。章は無類のパン好きだったことから、「パンの殿様」と世間から呼ばれました。その後、ハチブドー酒を一手に販売して近藤商会に入り、発酵学の研究の為、ドイツへ派遣されます。ワインやドイツ料理も好きでした。

大正8年（1919）から昭和20年（1945）までの間、沼田の児童生徒の奨学のために「土岐賞」を設け、学業優秀者に賞状と景品の硯箱（戦時中に白扇に変更）を授与しました。



※当日会場の都合により配置が変更となる場合がございます。

